

2018/9/30～2018/10/7

Next Week

No.264

【病院前妊産婦救護に関するシミュレーションコース BLSO in 高知（※9月30日開催中止のお知らせ）】

日 時：9月29日(土) 10:00～17:00（インストラクターコース）

※9月30日(日)は、悪天候が予想されるため中止となりました。29日(土)は、予定通り開催いたします。

場 所：高知医療センター

内 容：BLSOプロバイダーコースとは、交通事故などの妊婦外傷を含む病院前の産科救急的対処を強調した、特に産科救急に突然遭遇する可能性がある救急医、救急看護師、そして救急救命士を対象とした教育コースです。講義&少人数グループによるワークステーションで妊婦の評価、分娩介助、分娩第3期の処置、肩甲難産、産後大出血の対処、新生児の処置・蘇生法、重中分娩などを実践します。

対 象：高知県の救急医療に関わる医師、看護師、救急隊員

※高知県内の救急医療に関わる救急隊員や医師、看護師を対象にしたコースですので、県外公募はございません。また、参加者が定員に達したため参加申込受付は終了いたしました。ご了承ください。

主 催：高知県・高知市病院企業団立高知医療センター

問い合わせ先：高知医療センター 事務局 経営企画課

TEL 088-837-3000 FAX 088-837-6766

※高知医療センターの主催のお知らせは、「高知医療センターと高知県立大学の包括的連携に関する協定」に基づく連携の一環として掲載しています。

【高知県中山間地域等訪問看護師育成講座「平成30年度 訪問看護スタートアップ研修」開講式】

日 時：10月2日(火) 11:00～11:30

場 所：高知県立大学 池キャンパス 本部・健康栄養学部棟 第一会議室 2階 A216教室

問い合わせ先：高知県立大学 総務企画部 企画連携課 由比・岡林

TEL 088-847-8700 FAX 088-847-8670

【平成30年度 第11回シーズ・研究内容紹介】

日 時：10月3日(水) 18:30～20:00

場 所：高知県立大学・高知工科大学 永国寺キャンパス 地域連携棟 1階 ココプラ 交流スペース
高知県産学官民連携センター ココプラ

内 容：テーマは、「高知県立紙産業技術センターの取り組み」。

①「土佐和紙の新用途開発」

講師：高知県立紙産業技術センター 素材開発課 チーフ（不織布担当）山下 実氏

②「セルロースナノファイバーの活用について」

講師：高知県立紙産業技術センター 加工技術課 チーフ 鈴木 慎司 氏

県内5つの高等教育機関・公設試験研究機関等が持ち回りで、研究内容や取組を紹介するプログラムです。

シーズ・研究内容紹介は、原則、隔週 水曜日の18:30～20:00に開催されます。

今回は高知県立紙産業技術センターからの紹介となり、山下チーフからは土佐和紙の新しい用途開発について、

鈴木チーフからは紙の原料であるパルプ繊維から作るセルロースナノファイバーの活用について講演頂きます。

平安時代中期の格式「延喜式」に記述されているなど、土佐和紙の歴史は古いです。

その歴史と伝統を守りつつ、紙産業技術センターが高知県の紙産業技術の中心となり、

紙の未来をみつめ、その可能性をどのように探っているかをお話しいたします。

ぜひ、ご参加ください。

申 込：定員36名、参加無料

ココプラのHP(<http://www.kocopla.jp/>)より申し込みください。

問い合わせ先：高知県産学官民連携センター ココプラ

TEL 088-821-7111

【高知県立大学公開講座の開催】

日 時：10月13日(土) 13:30～15:30（開場13:00～）

場 所：高知県立大学 永国寺キャンパス 教育研究棟 1階 A101教室

講 師：跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 教授 安島 博幸 氏

内 容：講演タイトルは、「観光的価値の創造と地域の持続的発展」。

観光地が持続可能であることのもっとも大事な条件は、そこにしかない場所の魅力・価値を保ち続けることである。

では、どうすればそれが可能なのか。

そのためには、まず観光地の魅力・価値の種類毎にその性質や特徴と生成・消失のメカニズムについて考え、

それをもとに観光地の価値を創造する方法や既存の価値を長続きさせる方法を日本各地での実践例の紹介とともに提案します。

詳細は下記をご覧ください。

<http://www.u-kochi.ac.jp/site/aeru/20180910.html>

申込・問い合わせ先：地域連携課（担当：谷・宗石）

TEL 088-821-7125

